

製品名: IL-18R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12515**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	IL18R1
別名	IL18R1; IL1RRP; Interleukin-18 receptor 1; IL-18R-1; IL-18R1; CD218 antigen-like family member A; CDw218a; IL1 receptor-related protein; IL-1Rrp; IL1R-rp; CD218a
遺伝子 ID	8809.0
SwissProt ID	Q13478
免疫原	抗血清はヒト IL18R1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

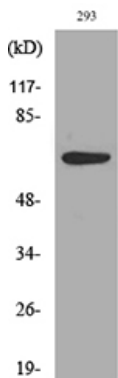
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 1 受容体ファミリーに属するサイトカイン受容体である。この受容体はインターロイキン 18 (IL-18) に特異的に結合し、IL-18 を介したシグナル伝達に必須である。IFN- α および IL-12 は、NK 細胞および T 細胞においてこの受容体の発現を誘導することが報告されている。この遺伝子は、IL1R2、IL1R1、ILRL2 (IL-1Rrp2)、IL1RL1 (T1/ST2) を含むインターロイキン 1 受容体ファミリーの他の 4 つのメンバーとともに、染色体 2q 上に遺伝子クラスターを形成する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2013 年 9 月]、機能: インターロイキン 18 (IL-18) 受容体。アゴニストに結合すると NF- κ B が活性化される。、その他: インターロイキン 1 α (IL-1A) およびインターロイキン 1 β (IL-1B) には結合しない。、類似性: インターロイキン-1 受容体ファミリーに属する。、類似性: TIR ドメインを 1 つ含む。、類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 3 つ含む。、組織特異性: 肺、白血球、脾臓、肝臓、胸腺、前立腺、小腸、結腸、胎盤、心臓で発現し、脳、骨格筋、膵臓、腎臓では発現しない。ホジキン病細胞株で高発現する。、

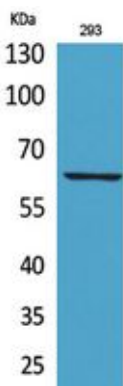
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



IL18R1 抗体を使用した 293 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



IL-18R ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。